

件名

横浜環状南線 釜利谷庄戸トンネル工事 現場見学会

概要及び目的

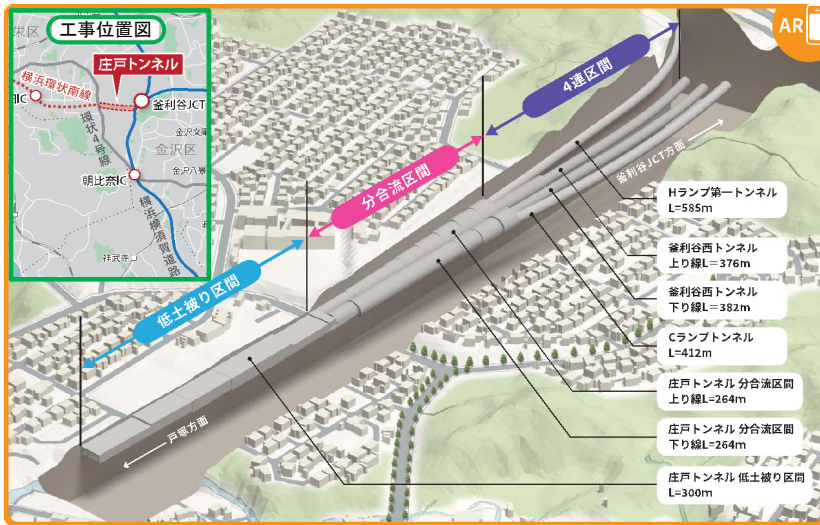
釜利谷庄戸トンネル工事は、横浜環状南線が横浜横須賀道路と接続する釜利谷ジャンクションから、環状4号線を跨線する手前まで、約1kmのトンネルを建設する工事です。この地域は住宅地が広がっているため、地上部での作業を最小限に抑え、地山状況を考慮して全区間でNATM(ナトム)工法等を採用し、周辺環境に配慮した安全で信頼性の高いトンネルを建設しています。

- 工事概要：工区延長：約1,660m、土工延長：約40m、トンネル総延長：約2,242m、土工・ずり処理工：36.8万m³
- ・庄戸トンネル（〈分合流区間〉上り線：約264m、下り線：約264m、+〈低土被り区間〉：約300(265+35)m)
 - ・釜利谷西トンネル（上り線：約376m、下り線：約382m)
 - ・釜利谷ジャンクションHランプ第一トンネル：約585m、・同Cランプトンネル：約71m

見学先詳細

工事名	横浜環状南線 釜利谷庄戸トンネル工事		
事業主体	東日本高速道路(株) 関東支社 横浜工事事務所 庄戸工事区		
発注者	東日本高速道路(株) 関東支社		
施工者	横浜環状南線 釜利谷庄戸トンネル工事共同企業体(鹿島・前田・佐藤JV)		
見学日	令和5年6月28日	参加者	17名
備考	よこかんみなみ<トップページ> 圏央道-横浜環状南線の現在の進捗状況をお知らせします https://www.yokokan-minami.com/site/ フォトギャラリー(庄戸) ※よこかんみなみ各地区トピックスより https://www.yokokan-minami.com/site/topics/2/3.html		

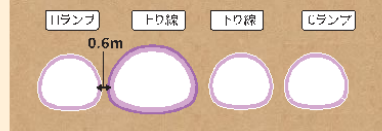
【工事概要図】



【工事の特徴】

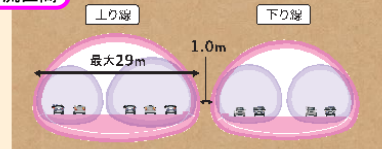
4本のトンネルが並んでいる区間です。隣のトンネルまで最小で0.6mと、とても近くでの施工となります。

4連区間



上り線は2本のトンネルに分流し、下り線は2本のトンネルが合流する区間です。掘削断面積は最大約480㎡、最大幅29mの超大断面です。

分合流区間



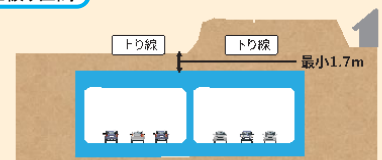
四角いトンネルを10個のブロックに分けて、小さなトンネルの中で各ブロックを組み上げながらつなげていきます。

低土被り区間 (施工ステップ)



四角いトンネルの上に、土が約2m~10mしかない区間です。

低土被り区間



見学者 集合写真



工事説明(事務所にて)